



グリーン交悠録

我グリーン交友録

ゴルフの素晴らしさを伝えながら
1万ラウンドを目指したい

本誌主幹 大中 吉一



—今年のゴルフはどんな具合ですか。

大中 1月9日を皮切りに、1月15日の大阪ガスのコンペでは零下何度という寒さの中でしたが、もちろん18ホールきちんとラウンドしました。

—ゴルフをしているとお元気ですか。

大中 何と言つても私にとってゴルフは元気の源です。忘れもしません

2016年8月4日に心筋梗塞で倒れたのですが、全治2ヶ月と言わされたものを2週間で退院し、9月29日に再診をしていただき大丈夫だと思ったのですが、なんとその日に銀座フォーラムの勉強会に出て脳梗塞で倒れてしまつたのです。5日間の点滴で再起したのですが、じつは10月4日に私が主催するゴルフコンペがあつたからなのです。

—コンペに行くために病気を克服してしまつたのですか。

大中 そうなりますね。69歳の時に始めた古希を記念してのコンペだつたのですが、どうしても退院の許可が出ませんでした。そこで病院とドクターに迷惑がかからな

いように「外泊」ということにして、始球式だけやると嘘ついてキング

ました。

—始球式ですね。

大中 いえ、さすがに午前中は60も叩きましたが、午後からは47とい

うまずまずのスコアになりました。

—18ホール全部をラウンドしたのですか。

大中 男たるものコースに出る以上、18ホールをきちんとラウンドす

るのは私の信条です。その時にも思いましたね。ゴルフは私の元気の源

なのだ。病気を治すためにゴルフをしていましたね。

—以前からそのことはおっしゃっていましたね。

大中 53年前、本誌を創刊した後にTBSテレビの時事放談で小汀利得氏と名対談をしておられた細川隆元氏のところに対談の連載を

しているのだと実感しました。



TBSの『時事放談』で小汀利得氏とホストを務めた細川隆元氏



第56・57代内閣総理大臣 岸信介氏

大中 そして23歳の時に細川隆元氏から公益財団法人国策研究会の矢次一夫氏を紹介いただきました。それで東京に進出されたのですね。

大中 以上の何かがそこにあらざることですね。

大中 その通りです。国策研究会の皆さんとご一緒したのは富士ゴルフコースでしたが、美しい富嶽の姿とともに、19番ホールで伺ったさまざまなお話は今も耳に残っています。ゴルフ

大中 もちろん、けんもほろろに断られました。それから100回も通つたでしようか？ある日、私の熱心さを認めさせてさつたのか、連載を快諾していただきました。そこ

から「月刊公論」という雑誌も、大中吉一という編集者も細川隆元氏が連載をし、応援をしてくださっていらっしゃることで各方面に信頼を頂くようになりました。

大中 每年6回、今年で388回とのことですから、60年以上続いていることになりますね。本当にゴルフがお好きな方たちが居てこそ続いているのですね。

大中 セっかくのコンペなのに、スコアを誤魔化したり、賭けゴルフに熱中したりする図はいただけませんね。よく言われますが、ゴルフは紳士のスポーツです。例えばスコアを誤記してしまったなと思つたら、自分の認識より1打多く申告する

大中 もちろん、けんもほろろに断られました。それから100回も通つたでしようか？ある日、私の熱心さを認めさせてさつたのか、連

載を快諾していただきました。そこから「月刊公論」という雑誌も、大中吉一という編集者も細川隆元氏が連載をし、応援をしてくださっていらっしゃることで各方面に信頼を頂くようになりました。

大中 すごいメンバーですね。

大中 コースにおける交流は、応接間ではできない対話を可能にしてくれるのです。そのことを大切にしなければなりません。

大中 まだまだ道半ばというところで

大中 信介氏、福田赳氏、安倍晋太郎氏、越智通雄氏、三塙博氏など清和政策研究会の錚々たるメンバーがいらっしゃいました。そしてゴルフに誘つて

大中 事務所に伺うと岸信介氏、福田赳氏、安倍晋太郎氏、越智通雄氏、三塙博氏など清和政策研究会の錚々たるメンバーがいらっしゃいました。そしてゴルフに誘つて



ラジオ東京(現東京放送(TBS))元社長 今道潤三氏

す。賭け事についても、数100円のチヨコレート程度ならまだしも、それでは家を取られたり身上を潰したりするようでは本末転倒も甚だしい。もつともつとゴルフに対する愛着を大切にしていただきたいと思います。

大中 私は一生に1万ラウンドするものが夢なのです。いまのところ年間に120ラウンドですから、このまま行けば100歳は超えてします。それまでに100歳は超えてしまっていけることが健康の証なのだと思っています。ゴルフをすることでも元気になれる。元気になることでまたまたゴルフが続けていく。そんな循環を繰り返しながら、読者の皆様にも、ぜひこのゴルフ交悠録をお楽しみいただければと考えております。

大中 そういうことになりますね。